# 普及活動情勢報告（平成２９年８月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

## ＧＡＰに取り組みましょう　～インゲン部会決算総会の開催～

決算総会の様子

７月 27 日、ＪＡ土佐くろしおで、インゲン部会の決算総会が開催され、生産者 22 名が参加しました。

農業改良普及課からは、ＧＡＰの推進として、前園芸年度に実施した安心・安全点検シートの結果を報告しました。各点検項目は高い達成率で、農業経営の効率化を目指して引き続き取り組むよう促しました。農家からは、「土づくりの項目は、養液栽培ではどう点検すればよいか」という意見が出されるなど、ＧＡＰに対する意識を高めることができました。

農業改良普及課は、今後もＪＡと連携して部会員の農業経営の効率化に向けＧＡＰを推進していきます。

## ＩＰM技術の向上へ！　～インゲン部会勉強会の開催～

薬剤散布を見直してみよう

８月１日、ＪＡ土佐くろしおと農業改良普及課でインゲン部会の勉強会を開催し、生産者９名が参加しました。

農業改良普及課は平成29園芸年度の天敵リモニカスカブリダニを用いた実証ほ結果を報告し、また農業革新支援専門員を講師に招き、農薬の散布についての講義やメーカーからの情報提供等を行いました。

参加者からは、「浸透移行性の農薬の場合、散布方法は同じか」といった今までの防除方法について見直す反応が見られました。

農業改良普及課は、今後もＪＡやメーカー等と連携して、実証ほの設置や現地検討会の開催などを通じて、ＩＰM技術の向上と普及を推進していきます。

## もう一つの選択肢　～超低コスト雨除けハウスの先進導入地・西土佐地区に学ぶ～

西土佐の超低コストハウス

８月９日、四万十市西土佐農業公社及びＪＡ高知はたの協力を得て、西土佐地区で取り組まれている米ナスの超低コストの雨除け栽培を視察調査しました。この施設は愛媛県で露地キュウリの誘引棚として用いていたアーチパイプを雨除け施設として利用したもので、１０ａ当たり１２０万円程度と安く、生産者の高齢化が進む管内の露地栽培にも活用できないか検討することになったものです。

当日は、農業改良普及課及び中土佐町から計７名の参加があり、この雨除けハウスの有効性が確認できました。今後、関係者で試験導入に向け検討していく予定です。

### キュウリの安定生産に向けて　～ＪＡ土佐くろしおキュウリ部会勉強会を開催～

勉強会の様子

８月９日、ＪＡ土佐くろしお営農センター２階会議室で環境制御技術とＩＰM技術の勉強会を開催し、キュウリの生産者 27 名が参加しました。ＪＡは、光を取り込むための被覆資材の洗浄や内張り資材の張り替え等の必要性を説明し、農業改良普及課は、前園芸年度に多発した黄化えそ病について「キュウリ黄化えそ病と天敵利用について」のテーマで説明しました。

生産者からは、「いつ頃被覆資材を洗浄したらいいのか？」「農薬に対して抵抗性ができるのはどうしてか？」といった質問が出され、光の取り込みやローテーション散布の重要性、ミナミキイロアザミウマ対策として、天敵利用の必要性が理解されました。

農業改良普及課は、今後もキュウリの安定生産に向けて現地検討会や勉強会を通じて普及に取り組み、農家のレベルアップに繋げます。

### 収量・品質の向上を目指して　～ＪＡ土佐くろしお露地シシトウ現地検討会の開催～

現地検討会の様子

7 月 26、28 日、須崎市吾桑、大谷、角谷、葉山の４ほ場でＪＡ土佐くろしお露地シシトウ現地検討会が開催され、生産者 51 名が参加しました。

農業改良普及課からは、気象予報や台風対策、今後の栽培管理について情報提供しました。「実が付いている枝を整理するのはもったいない。」という意見や、果実の腐敗対策について質問が出て、今後の栽培管理や収穫後の品質管理を考える場となりました。また、現地ほ場を見て、収穫作業や天敵などについて情報交換を行う場となりました。

今後もＪＡと協力して、収量・品質の向上を目指して情報提供していきます。

### 集落営農に取り組もう！　～中土佐町集落営農塾組織化編第１回～

意見交換の様子

８月４日、中土佐町とともに中土佐町役場２階会議室で、集落営農塾組織化編を開催し、生産者５人が参加しました。

農業改良普及課からは、中土佐町における農業の状況や農地を守るために集落営農の取り組みが必要であることを、中土佐町からはこれまでの事業支援の状況や農業の担い手の育成が必要であることを説明しました。

参加者からは、「集落営農に取り組みたいが動ける人が少ない。」「農家が少ないので近隣の集落営農組織に入りたい。」など、意見交換の中でそれぞれの集落の抱える課題を聞くことができました。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して集落営農組織化に向けて支援します。

<table>
<tr><td colspan="2">新商品の開発と販路開拓へ！　～６次産業化支援チーム会を開催～</td></tr>
<tr><td> <br>龍王営農組合のチーム会</td><td>８月８日、梼原町役場と中土佐町役場で、６次産業化支援チーム会を開催し、生産者４人が参加しました。<br>梼原町では四万川地区の集落営農組織である龍王営農組合の製造する「酒かす漬け」の商品化について検討し、原価計算やパッケージの方向性について話し合いました。<br>中土佐町では大野見地区で飼育されている七面鳥肉の新たな販路について検討し、アスリート向けのレストランに商談に行くこととなりました。<br>農業改良普及課は、今後も６次産業化として新商品開発と販路拡大について支援します。</td></tr>
</table>